

前田對馬
横山左衛門
本多安房

津田宇右衛門殿
岡嶋五兵衛殿

二八 百姓借物仕候者之儀觸

御分國中在々改作に被仰付候以後、百姓脇がり物堅御停止之旨、跡々より雖被仰出、今以密々百姓共かり物仕由相立御耳候。向後之儀、かり候ものゝ内に而茂、於申出者御褒美可被下旨被仰出候。勿論かり主可爲曲事候條、彌以在々百姓中かり物仕間敷候。たとへかり有之者に而茂可申顯之旨、御郡中相觸候様に、改作奉行・御郡奉行に可被申渡候以上。

閏十月十六日

奥村 因幡
横山 左衛門
長 九郎左衛門

津田宇右衛門殿

岡嶋五兵衛殿

二九 他國舟間役銀之儀觸

覺

一、御領國中着船之浦々々、他國舟致間入候刻、御定之間役銀之儀、於他國浦此方御領分之船着岸之刻、間役取不申所々之船、御領國に於來者、間役銀取り申間敷事。
一、松平越前守殿御領分之船之儀、あなたの方之手形有之を以、間役取立申間敷候。其外於他領、御領分之船間役取不申所々船於來者、能逢吟味候上を以、間役取立申間敷事。
一、公方様御荷物積候船、并大名衆御自分之船雖致間入候、間役取立申間敷事。

右之通被仰出候條、被得其意、御領國中浦々々可被申渡候。

戊七月十八日

奥村 因幡
前田 對馬
横山 左衛門
長 九郎左衛門
本多 安房

津田宇右衛門殿
岡嶋五兵衛殿

三〇 新知・加増及跡目等届出之儀觸

覺

一、新知・加増并跡目之御一行頂戴之面々、早速御一行持參之事。
一、死去人其外上り知有之者、所附に收納帳相添可上事。
右延引有之候得者如何に付、重而申觸置候間可被得其意候以上。

寛文二年六月四日

御算用場

三一 知行米預置候藏宿之儀觸

御家中諸給人知行米預置候藏本之覺

金澤町中
小松町
鶴來町

高松村
今石動町
氷見町
城ヶ端町
高岡町
福光村
戸出村
東岩瀬
水橋
滑川
赤川
横山
泊津
魚津
七尾町
劔地村
道下村
輪嶋町